

ROTARY CLUB OF

KANAZAWA-NORTH



金沢北ロータリークラブ

例会日：木曜日 12:30～13:30

例会場：卯辰山・ホワイトハウス

事務局：金沢市尾山町9-13・金沢商工会議所

TEL <0762> 22-2525

会長：大場勝雄 幹事：桜井健太郎

情報委員長：米沢修一

1981・9月3日

第198号

“友禅について”

友禅作家

矢田 博氏



戦前の京都での修業時代、宗教雑誌「大法輪」に投句した俳句が佳作に入選したことがありました。その句は「編隊の音のみ聞ゆ花ぐもり」というもので、4月の花ぐもりの日、大阪の観艦式の軍艦から京都に飛来した艦載機の爆音は聞えたが、機影が見えなかった現実の有様を「すなを」に現わしたのです。

その後、毎日頭で想像した花や、風景を俳句にして毎月投句しましたが、一度も入選しませんでした。この事は、さきに入選した句は自分が目で見たこと、耳で聞いたことの現実の有様を「すなを」に文字に現わしたものであるのに反し、その後の句作は、単に頭で考えたもので「すなを」さが欠けていたからであります。

絵についても同じ事がいえると思います。私が後年、友禅作家として出発するに際し、まず心がけた事は、自分の目に実際に写ったものを「すなを」にスケッチする事でした。自分の目で写生することは大切な事です。「すなを」に花をスケッチする事の尊さ、有難さが私の作風となり、今日に至っております。

着物を愛する御婦人は、美しく優しさがあり、家庭を明るくし、和やかな平和が生まれます。友禅の絵により着物姿の御婦人は、より美しく、より優しく見えます。この絵は「すなを」な花や風景のスケッチであり、「すなを」な表現こそ花も喜ぶでしょうし、着られる御婦人の心も、さぞかし美しく、優しくなるものと常々信じております。

—金沢北RC例会講会から— (文責 中村三次)

私の名刺

笠間 正夫



この度、塩村喜代次さん及び上次作さんのご推薦により、伝統あるロータリークラブに入会させて戴きました笠間正夫でございます。よろしくお願い申し上げます。

私は金箔職人の長男として生れ、家業を継ぐこととしていましたが、戦中で平和産業の金箔業界はどん底景気で、先き行きが不安であったことから建築家を志し、金沢市立工業建築科へ入学しましたが、突然の病気のため残念ながら中退のやむなきに至りました。その後元気を取り戻し、住吉市場の乾物問屋に2年程勤めるうちに箔業界にも復興の兆が見られ、家業を継ぎ

問屋の下請けとしてアルミ箔の製造を始めましたが、業界の変動が激しく思うような業績を上げることが出来なかったため、自製販売に切替え、全国消費地を廻り直販方式をとりながら銀、洋箔と流動的に製品をも切替えながら現在の金箔専門の製造販売会社とすることが出来ました。又、仏壇販売も兼業し、昭和47年度から仏壇小売部を別部門として独立させ現在に至っております。

家族は母と妻子の6人です。しかし私は「物」の乏しい時代に育ち、病弱でもあったことから、別所の九万坊に縋り山参を続けさせて戴き、苦境を乗り越え、身心共に伸展しようと努力しました。時には夜中でも山に行き、禅行の中で反省し、仕事一筋で少しでも一歩でも前進する努力を重ねて参りました。私が今日あるのも神仏と周囲の皆様のおかげと感謝しております。

このような日々を送っている折、塩村様より入会を勧められ、初の新入会員研修会で柴田三郎さんの言葉の中で「ロータリー精神とは感謝の心を持って地域社会に奉仕する事」だとのお話しをお聞きしました。これは私が何時も心に留めていることと同じと思ひ、御縁で入会させて戴いた事を改めて心から感謝している次第です。

何分にも浅学微才な私ですが、先輩諸兄の教えを受け一日も早くロータリアンになるよう不断の努力を怠らぬよう努力する所存で居りますので御指導賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

ロータリーニュース

例会場変更のご案内

当クラブ例会場ホワイトハウスの新築工事のため、9月より来春（4月ころの予定）まで、例会場を下記の通り変更致しますので、お間違いのない様、よろしくお願い申し上げます。

尚、お車でお越しの方は観光会館駐車場をご利用下さい。（基本料金は当方でサービスさせて戴きます。）駐車場の関係上、なるべくお乗り合せでお越しいただければ幸いです。

石 亭 金沢市広坂1の9の23
☎ 3 1 - 2 2 0 8

金沢北RCゴルフコンペ

と き 8月27日
と ころ 能登カントリー
参加者 8名

			O	I	G	H	N
優勝	佃	一成	45	48	93	21	72
準優勝	塩村喜代次		49	46	95	20	75
3位	鈴木	透	52	48	100	24	76
BB	下村	義明	62	59	121	30	91

ニアピン 佃一成、池島乙市

ロータリーを通じて世界理解と平和を

国際ロータリー第261地区金沢北ロータリークラブ

韓国親善交歓訪問

参加者：山岸団長、桜井会員、飯野会員、木下会員、小間井会員、高島会員、飯野夫人
大徳サッカースポーツ少年団 合計 42名

日 程：	日 次	月日(曜)	地 名	現地時刻	交通機関	摘 要
	1	8/21 (金)	小松空港発 ソウル 着 (金浦空港)	12:25 13:50	日本航空 997便	空路、ソウルに出発！ 着後、貸切バスにてソウル市内観光 (景福宮・国立博物館など…)。 18:00～駅村小学校にてレセプション 大人 ロッテホテル (泊) ソウル 小人 民泊
	2	8/22 (土)	ソウル 発 光 州 着	08:00 ～11:00 12:00 13:00 17:00	貸切バス	親善試合(2試合予定) ソウル市内にて昼食 光州へ 着後、小学校にて歓迎レセプション 大人 市内ホテル (泊) 光 州 小人 民泊
	3	8/23 (日)	光 州 発 ソウル 着	08:00 ～11:00 12:00 13:00 17:00	貸切バス	親善試合(2試合予定) 光州市内にて昼食 ソウルへ 着後、ホテルへ (泊) ソウル 全員 ロッテホテル
	4	8/24 (月)	ソウル 発 (金浦空港) 小松空港着	13:40 15:10	日本航空 998便	出発までショッピングなど 空路、帰国の途へ……



8/21(金) 駅村国民学校のレセプション



8/21(金) レセプションにて 駅村国民学校校長



成学務局長大いに歌う



8/22(土) サッカー開会式

WORLD UNDERSTANDING AND PEACE THROUGH ROTARY



8/22(土) 光州の国民学校にて歓迎会 光州南RC副会長あいさつ



8/22(土) 金沢北RC・光州南RC親善の堅い握手



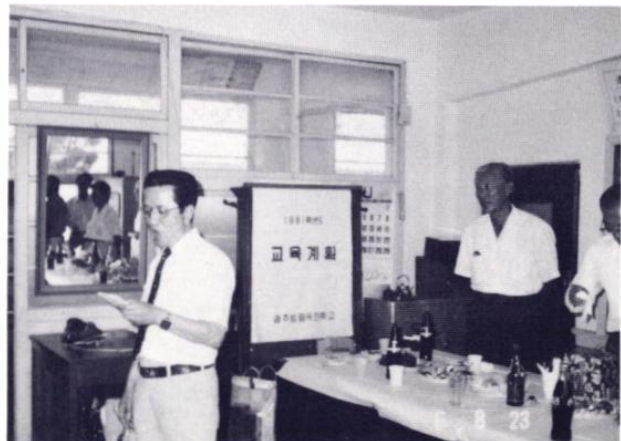
8/23(日) 開会式



8/23(日) 試合前にペナント交換



8/23(日) 光州の国民学校にて試合後のレセプション



8/23(日) レセプションにて

大徳少年サッカーチーム訪韓に随行して

国際奉仕委員長 飯野 健志

どのような旅にも一抹の不安と緊張を伴うものであるが、選手とはいえ、小学生20名とその父兄十数名の団体の訪韓は、少なからず煩瑣が予想され、その責任の重大さに、緊張の連日であったが幸い韓国側の予想以上の手廻しの良い準備と、好意溢れる歓迎により、全く無事故で帰国出来たことを、何よりも大きな収穫であったと痛感している。試合の方は、当方父兄はじめ関係者の切なる激励と応援にも拘らず、4試合中3負1引分けという成績に終わったが、フットボール（サッカーと云う呼称は日本以外にないそうです。）を準国技とする国を相手とあつては、致し方ないことと云えよう。韓国チームの選手の動きは、体格こそ日本選手と殆んど同格であっても、その基本的動作、動きの洗練性に関して、相当の開きがあるのを、素人の私共にも感じられるが、来春の全国大会に備えるチームとの対戦とあつては寧ろ当然と云えるかも知れない。しかしながら双方の選手共、正堂々と何のわだかまりもなくわたり合い、数百名の応援、見物の人々を楽しませてくれたことは私としても本当に誇り高く、又来訪して良かったと泌々嬉しく思った。36年間の日本統治時代を終って独立国として発足したが、民族の悲劇とも云うべき南北分断により、常に準戦時態勢で、国家予算の36%を軍事費として支出を余儀なくされ、然も尚、奇跡的な高度成長を経験した韓国の実情は、必ずしも正確に日本へは報道されておらず、案外近くて遠い国、或いは開発途上国として残念ながら清潔な印象を与えられなかったように思われる。

今回の訪韓団の凡ての人々が、先ず心を打たれたのは、第1に韓国人の礼儀正しさと日本人への寛容と畏敬、第2にその愛国的民族主義と両親への孝行心、第3に極端と思われるほどの郷土愛…であり、我々が文明発達の途上失って来たものが立派に現存していることに驚くのである。本年の国際RCのターゲットにもある如く、『ロータリーを通じての国際理解と平和』は、今回の訪韓団で民泊2泊を経験した小学校選手諸君が、いみじくもその感想文で語っている如く、『再び成人して訪韓して、語り合える日の来ることを切望している』ように、見事にその成果を挙げたことと確信している。あのような民泊2泊と云う苛酷な条件にも耐え得、夏の習慣としての水風呂の接待などの風俗習慣の相異も苦にせず、目に涙を浮べての別れの風景は、少年ならでは成し得ない特異な能力の所以であり、このような親善活動が実を結んで、将来の青少年達の友好の絆が強く結ばれ、我々に成し得なかった日韓の友好が深まることを期待されるとするならば、本当に行って良かった…！と云う感慨一入のものがある。特に親日家である成学務局長、光州南RCの役員の方々の誠心誠意心からなる友情を我々に捧げてくれたことは、終生忘れ難い感激であり、今後この人々を通じて更に親善の輪を拡げてゆきたいと願っている。百聞は一見に如かず！是非、訪韓親善の旅をお勧めしたい。

*小松——ソウル 定期便週2便 所要時間約1時間20分



かん国えんせいにて

藤 広 肇君

ぼくは、大徳サッカースポーツ少年団で韓国親善交流訪問に行きました。8月21日12時25分発の日本航空に乗り、2時前にソウルの金浦空港に着きました。韓国に着いて最初におどろいたのは、金浦空港が小松空港と比べて大変大きかったことです。空港を出る時パスポートを見せて、「職業は何ですか」と聞かれたので「小学生です」と言いました。その後、荷物の検査もしました。金浦空港の前で記念写真を撮りました。

バスでソウル市内を見物しました。自動車は右側通行で、ハンドルが左側についていて、出入口が右側だったので（日本と全く反対だなあー）と思いました。夕方5時ごろにソウルの駅村（ヤッチョン）小学校でレセプションをしました。その時歓げいされ、ごちそうも食べきれないほど出ました。ごちそうを食べながらプレゼントを交かんしました。

その日の夜は、駅村小学校の女の子の家に木曳野小の高島君と2人で宿まりました。向こうの家は日本とちがって、たたみがなくてコンクリートとゆかを使っていました。言葉は通じなかったけれど、手ぶりでわけをわかってもらうように、なんとかしました。向こうは夜中の12時になると、テレビはと中でも終わります。人も12時から朝の4時まで外出できなくて、外に出るとけいさつにつかまります。

22日は駅村のチームと試合をしました。4対0で負けました。日本とちがう所は、日本は20分ハーフだけ韓国は25分ハーフなのでつかれました。ぼくのポジションはハーフでした。

韓国のサッカーチームは予想以上に実力が上でした。それに、せの高い人ばかりだった。ぼくたちが光州へ行く時、最後は全員あく手をしました。高速道路をバスで走って、次は光州に向かいました。ソウルから光州まで約5時間かかりました。光州に着いた時、大徳サッカースポーツ少年団と韓国語で書いたアドバルーンを上げて歓げいしてくれました。バスからおりると、男子と女子が2列になってむかえてくれました。それから民泊する家の組分けをしました。また女の子の家でした。

そこのおばさんは、むりやりたくさんごはんを食べさせるので、おなかがはれつしそうでした。ねる時は、ふわふわのふとんに、かにさされないようにかやをしてくれました。23日は、芳林（バイリン）小学校で芳林のチームと試合をしました。その時は1対1の引き分けでした。前半はもちこたえたけれど、後半になるとおされぎみでした。最後はコーナーキックシュートで入れられました。でも後で木下君がボールを持ってどくそうしていったけれど、芳林のキャプテンが取ったと思ったら急に転んだので、また木下君が取り返して、なんとかして1点を取りもどしました。ぼくはその時とてもうれしかった。

帰る用意をしてレセプションをしました。芳林の人はサインをしてくれと指で紙を指したのでサインをしました。最後におわかれをする時は、またあく手をしました。

ソウルにまたもどり、今度は38階建てのロッテホテルに全員が泊り、ぼくと高島君は822号室でした。夜は1時まで友だちの部屋で話をしていました。1時に自分の部屋に帰り、ねました。

24日は7時30分に電話がかかってきて起きました。朝の食事は、地下で日本の食事でした。10時30分になると、ソウルの金浦空港に向かいました。昼食が終わると手続きをして飛行機の中に入りました。飛行機の中からは海や船がおりのように見えました。

小松空港に着くと、日本は（久しぶりだなあー）と思った。ぼくは韓国に行って一番うれしかったことは、どこでも歓げいされたことです。それにとっても親切でした。小学校最後の夏休みが最高の思い出になりました。

8月23日(日)

高 畠 由 勝 君

今日はこう州の人の家から学校まで近く、そのとちゅうで、いろいろなことをおしえてくれ、その中でもれいぎとかおしえてくれたので、とてもべんきょうになった。光州では日本語がしゃべれる人が少ないといっていたので、バスの中でいっしょうけんめいにおぼえていたけれど、その人は日本語がしゃべれたので、とてもよかった。それに一番うれしかったのは、しゃしんをとって、それを、ぼくのところへおくってくれるといってくれたから、それにぼくたちにはきれいなふとんをだしてくれて、おじさんたちはそまつなものでねていて、ともしんせつだったことです。

それで、かん国のことぜんぶを思いだしてみると、ソウルでは、はなしがつうじないの、本をもってきて、いっしょにしゃべったり、光州では、いろいろとふくをたたんでくれたり、お金をくれたりして、とつてもたのしく、とつてもゆかいで、とつてもやさしい、三びょうしそろったしんせつさとかで、とつても民泊はよかったです。それで、かん国の人にもらったものは、たからものにしてと思っています。

そして、買い物の時とかに気がついたんだけど、かん国の人は、とても日本語がじょうずだったので、とてもはなしやすかったので気楽にかいものができる、とてもよかったです。かん国にきてとてもよかったですと思いました。

西 田 満 君

昨日は、光州の家にとまった。光州の人たちは日本語がわからないといっていたので、ぼくは、うまくつたえることができるかなと思いました。でも、あいての人はぜんぜん気にしないで、平気な話してくるので、たいへんこまりました。でも、こたえているうちに、だんだんことばはわからないけれど気持ちで通じるようになったので、とてもよかったです。

あくる日、7時に目がさめて食事をした。また、小森君たちといっしょに食べた。そして写真を写してもらった。食事が終わったのは8時だったので、早くいかなければと思ったけれど、光州の人たちは、なかなか行かせてくれないので、はらはらした。そして行く時に、チョコレートとガムをもらった。とてもうれしかった。

試合は負けたけれど、とても楽しい光州の思い出ができたので、たいへんよかった。そしてバスに乗りこみました。古い町なみがとてもいんしょう的でした。

高速道路をとおっている時、牛が田んぼのあぜ道や道にいたので、ふしぎに思いました。ソウルにつくと、すぐ買い物だったのでよかったです。

ホテルロッテは、ごうかだということは聞いていたので、あまりびつくりはしなかったけれど、やっぱりでかいなあと思いました。夕食は肉で、味はちょっと日本とちがっていました。部屋もすぐごうかで、もったいないくらいです。

三日間韓国ですごしてきたけれど、やっぱり言葉が通じないとふべんだと思った。気候はあまりかわらないけど、字を見たら韓国という気持ちになった。

もう半日で帰るけれど、思い出のある楽しい日にしたいと思う。



第395回例会

◆ 8月20日(休) 12:30～13:30 ホワイトハウス



1. 講話
家裁首席調査官
石川三郎氏
“青少年非行問題の現状、”
2. 出欠
出席47名、欠席12名
出席率79.66%
ビジター13名
3. 来訪者(敬称略)
河北RC 能田清一
(農機具製造)
表政志(建築業)

金沢RC 高光一生、中里巧、
三ッ野真三郎

金沢東RC 平野知康、水上外茂夫

金沢西RC 山本基宗、坂本宗一郎

東清、柚木健、渡辺浩作

金沢南RC 辻弘

4. 幹事報告 ○明日より当クラブ会員(山岸団長、飯野、桜井、小間井、木下、高島会員)を含め、少年サッカーチームの一団が日韓親善友好交歓のため渡韓致します。
○星稜高校より甲子園出場に際しての寄付金の御礼状とご挨拶状が来しました。

5. ニコニコBOX

- たびたびの欠席申し訳ありません。早朝野球、早朝例会、石丸さん、吉山さん大変お世話になりました。市川則人
- 家元のけい古に出ますので、早退致します。釣見栄一
合計 5,000円 (累計 201,000円)

6. 今週のニュース 私募国債発行決まる。

国債発行の遅れを打開するための、非市場性国債の発行が正式に決まった。発行条件は表面利率 8.2%、発行価格 99円65銭で、応募者利回りは8.28%、償還期間は6年、譲渡制限期間は2年で、9千億円が発行される予定。

8月クラブ日誌

- 8月6日(休) 早朝例会 大蓮寺にて
- 8月7日(金) 金沢5RC合同役員会 都ホテルにて
- 8月13日(休) 8月定例理事会 ホワイトハウスにて
- 8月21日(金)～24日(月) 少年サッカーチーム訪韓
- 8月27日(休) 第1回ゴルフ大会 能登カントリーにて
- 8月27日(休) 夜間例会 ホワイトハウスにて

第396回例会 夜間例会

◆ 8月27日(休) 18:00～20:00 ホワイトハウス

1. 少年サッカーチーム訪韓報告
山岸与作団長
飯野健志国際奉仕委員長
2. 出欠 出席41名、欠席18名、出席率 68.97%
3. 来訪者 (昼受付の部、敬称略)
金沢RC 正村章、小松暁一
岡本弘昭、荒木登、松本静夫
松本修成、野村隆康、岡田虎二
永田満夫、中田雄次郎、小宮静夫
金沢東RC 田川克次、米沢秀男
浅田裕久、諸江賢二、徳山一郎
越原哲郎
金沢西RC 小堀甚九郎、秋常外喜雄
松本隆夫
金沢南RC 森嘉紀、朝倉宏三
村井利男

4. 幹事報告 第261地区山中年次大会

10月3日(土)～4日(日)

山中町社会教育文化会館・婦人児童館

5. ニコニコBOX

- 大変お世話になりました。子供達も心の中に沢山のお土産をつめて帰りました。
大徳少年サッカーチーム監督 木本氏
- お陰様で5RC後援の大徳スポーツ少年団サッカーチーム訪韓交歓試合を、ソウルと光州にて終了し、全員無事故にて帰ることが出来ました。諸兄の御理解と御友情を感謝し、又南光州RCとの交流推進を願って。飯野健志
- 大徳サッカーチームに随行し、無事韓国より帰国しました。日韓の友好を大いに高める事ができました。
山岸与作、木下和吉、高島菊丸
桜井健太郎、小間井宏尚
- 韓国との親善少年サッカーチームの皆様、北RCの山岸団長、他の皆様、御苦勞様でした。大場勝雄
- 8月28日誕生日なので。二木正樹
- 本日のゴルフに於て優勝しました。
佃一成
- ゴルフで2位と3位になりました。
塩村喜代次、鈴木透
- 本日のゴルフでドライバーが良いと皆さんにほめられました。池島乙市
- ゴルフ大会欠席したお詫びに。
木下和吉
- ゴルフのお世話が出来ず、鈴木先生に大変お世話になりましたので。
魚住安彦
- クラブ発足以来、当ホワイトハウスを可愛がって頂き、ありがとうございます。本日の例会をもって旧店舗の幕を閉じます。来春4月開店予定で目下鋭意準備中です。ご期待にそえる様がんばります。浅田豊久
合計34,000円 (累計 235,000円)

6. 今週のニュース 国鉄、赤字1兆円超す。

国鉄は昭和55年度の決算と監査報告書を運輸相に提出した。これによると赤字は前年度より1,866億円増えて1兆84億円に達し、国鉄史上最悪の決算となった。

国鉄は60年度を目標に幹線で収支均衡を目指す「経営改善計画」を55年度からスタートさせたばかりだが、この大幅赤字で早くもつまづいた形となった。